

# 学校経営計画

大田区立南蒲小学校  
校長 和田 和可子

## 1 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともにたくましく、自ら学び考え行動する意欲と態度をもち、国際社会で信頼される人間性豊かな児童の育成を目指します。

◎いのちを大切にしよう 自他のよさや違いを認め、命を大切にする児童を育てる。

・すすんで学ぶ子

自らすすんで学び、よく考えて、目標達成に向けて努力するこどもを育てる。

・心豊かな子

豊かな情操と思いやりにあふれ、共に助け合い支え合うことができるこどもを育てる。

・健康な子

心も体も健康で、ものごとに意欲をもって粘り強く取り組むこどもを育てる。

## 2 目指す学校像

○児童にとって、安心して自分を表現でき、目標をもってがんばる過程が認められ、自尊感情および自己肯定感が育まれる学校

○保護者にとって、安心して通わせることができ、こどもたちのために協力したいと思える学校

○地域にとって、親しみと誇りを感じる存在で、学校の活動を応援・支援したいと思える学校

○教職員にとって、改善に向けた取組の成果や学校組織の一員としての貢献を実感できる学校

## 3 学校経営の方針

(1) 知、徳、体のバランスのとれた生きる力を育成します。

児童一人一人の能力を最大限に発揮させるため、個に応じた指導を適切に行い、目標に向かってくじけず、やり遂げようとする意欲や態度を育てる。学力、人間力、健康・体力づくりにおいて、自ら考え行動し、他者と協働しつつ、新たな価値を生み出す生きる力を育成する。生きる力を育成する上で、児童自ら努力する過程を賞賛・評価し、児童に充実感や達成感、自尊感情および自己肯定感が得られるようにするとともに、家庭（保護者）・地域との連携の下、知、徳、体のバランスのとれた児童を育成する。

○個に応じた指導…児童一人一人の能力を最大限に発揮できるよう、目標に向かう

○新たな価値を生み出す生きる力…自ら考え、行動する。他者と協働して生きる

○自己肯定感の獲得…児童自ら努力する過程を賞賛、評価。充実感や達成感

○保護者・地域との連携…知、徳、体のバランスのとれた児童を育成

(2) 意欲あふれる学びの場や学びの機会をつくります。

教員は教材研究や事前の準備を行い、分かった、できた、もっとやりたいと児童が意欲的に取り組める授業を創造する。教える側も教えられる側も意欲をもって、積極的に学びにかかわり合う、意欲あふれる学びの場や学びの機会をつくる。また、授業のみならず教育活動全般において、教員は意図的に児童が活躍する場を設定する。事前指導を丁寧に行い、児童が活躍する場面を設けることで、児童の意欲を高め、活力ある教育活動を行う。

○意欲的に取り組める授業…分かった、できた、もっとやりたいと児童が思える教材研究や事前準備

○意欲あふれる学びの場や学びの機会…教える側も教えられる側も意欲をもって積極的に学びにかかわりあう

○児童が活躍する場を設定…授業のみならず教育活動全般において意欲的に児童が活躍する場を設定

○活力ある教育活動…丁寧な事前準備、児童が活躍する場を設定、児童の意欲を高める教育活動、各学年に応じた教科担任制の実施

(3) 児童一人一人に寄り添う教育を推進します。

日々繰り返される授業と学級経営がすべての基本であり、学級が原点である。規律が保たれ、児童にとって居心地のよい学級作りを行う。そのために、学級担任のみならず教職員の多くの目で児童を見守り、児童が抱える課題の解決を図る。人間関係が健全に機能し、互いに助け合い支え合うことのできる学級で、全ての児童が安心して学び、心身を鍛え、学校生活を楽しく送ることができるようにする。

○学級が原点…日々繰り返される授業と学級経営がすべての基本

○居心地のよい学級づくり…規律が保たれた学級、人間関係が健全に機能する学級

○児童が抱える課題の解決…学級担任のみならず、全教職員の多くの目で児童を見守る

○楽しい学校生活…互いに助け合い、支え合うことのできる学級。安心して学び、心身を鍛える。

## 4 具体的方策

(1) 学力向上(知)【主体的・対話的で深い学びの実現】

① 基礎学力の習得と活用及び思考力、判断力、表現力等の育成

- ・平日補習教室の充実
- ・小中一貫教育(東蒲中学校・東蒲小学校・南蒲小学校)の視点に立った学習指導、生活指導
- ・学習状況を把握し、家庭と連携して基礎的、基本的な学習内容を定着させるための2者面談を実施
- ・朝学習の時間での読書活動の充実、学級活動の充実
- ・年間2回、家庭学習定着週間設定

② 授業改善

- ・授業改善推進プランに基づく学習指導
- ・算数科における全学年の少人数指導、Chromebookを使った算数ステップ学習電子版導入  
Chromebookを活用したドリルパークを実施
- ・大田区学習効果測定や全国及び都の学力調査の活用
- ・発達段階に応じた情報活用能力および情報モラルの育成、プログラミング教育の充実
- ・自尊感情の向上と学習意欲の向上、キャリア教育の充実
- ・教員は、様々な研究、研修(校内研究、OJT、授業力向上研修、若手研修、指導教諭の模範授業参観、区教研、研究発表会への参加等)を通じ、授業力向上及びスキルアップを図る。
- ・東京都教職員研修センタープラントから、一人一回以上、模範授業に申し込み、学んだことをA41枚程度にまとめ、夕会等で全教員に伝える。

③ 多様な学習活動

- ・おおたの未来づくり
- ・言語環境を整え、児童の言語活動の充実を図る
- ・大田区小学校漢字検定への取組
- ・読書週間、児童の国語力、読むこと書くこと取組、家読の推進、未読割合、読書冊数の改善
- ・ものづくり学習を通じた体験学習の充実
- ・ALTを活用した英語、外国語活動、英語カフェ
- ・Chromebook、電子黒板、書画カメラ等のICT機器の活用

(2) 豊かな心（徳）

① 豊かな体験

- ・人権教育や道徳教育の充実
- ・人権尊重週間、生命尊重週間、道徳授業地区公開講座の設定
- ・社会的な規範を遵守することもを育成する規範意識向上プログラムの推進
- ・たてわり班を生かした南蒲フェスティバルや集会活動、遊び、挨拶運動など、異年齢交流を意図した教育活動
- ・読書活動を通した豊かな心の醸成、読書学習司書との連携
- ・学習発表会の実施

② 指導体制、相談

- ・南蒲小いじめ防止基本方針に則ったいじめの未然防止、早期発見、早期対応
- ・メンタルヘルスチェック・こどもの心サポート月間・スクールカウンセラーによる5年全員面談
- ・「南蒲のよい子」、SNS 南蒲ルールの啓発
- ・学びの多様化
- ・特別支援教室拠点校として巡回指導教員、特別支援コーディネーター及び特別支援学級(知的・固定通称:5組)の担任による特別支援教育の充実

(3) 体力向上（体）

児童の体力向上及び健康の保持増進を図り、体育授業改善、運動の日常化に向けた取組、体育朝会、体育・健康教育授業地区公開講座等を実施する

① 体力向上

- ・一校一取組：なんぼーラン、
- ・学校 2020 レガシー：なんぼオリンピック
- ・年間を通して体育授業の際の準備運動、なんぼ体操
- ・体力テスト結果を活用した体力向上計画
- ・体育朝会の実施
- ・小学生駅伝大会選出の取組を通した自分なりの目標設定
- ・運動会の実施
- ・夏季水泳教室の実施

② 健康教育

- ・定期健康診断、発育測定
- ・早寝・早起き、朝ごはん月間の設定、食育等健康教育の充実
- ・体育・健康教育授業地区公開講座の実施
- ・歯を大切に作る習慣、歯磨き指導の実施
- ・姿勢保持の指導を計画的に行い、座る、立つ際の正しい姿勢を身につけさせる

(4) 教育環境向上など

① 危機管理と安全確保

- ・児童の安全確保については常に考えられる手だてを尽くし、可能な限り速やかな情報発信を行う
- ・緊急配信メール、tetoru、ホームページの充実により保護者に情報を発信
- ・避難訓練、情報モラル講習会、セーフティ教室、交通安全教室、自転車教室等の実施

② 開かれた学校

- ・定期的な情報公開（HP・学校だより・学級だより・保健だより・給食だより等）
- ・学校公開日や学校行事など地域および保護者参観の機会の設定

### ③ 保護者、地域の連携・協働

- ・キャリア教育の充実、特別活動の充実
- ・生活科、南究タイム、カリキュラムマネジメント
- ・読書学習司書の活用、図書ボランティアや蒲田図書館との連携
- ・地域人材やゲストティーチャーを招聘した授業の充実
- ・PTA、青少対の行事などに多くの児童を積極的に参加させることによる学校・家庭・地域との連携
- ・学校運営協議会（コミュニティースクール）との連携
- ・「スクールサポートなんぼ」のコーディネーターを中心とした学習支援や環境整備
- ・学校2020レガシー（東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後）の充実